

日本 GIF 特別オンラインセミナー
「エチオピア情勢と『アフリカの角』におけるインフラストラクチャー開発」
実施報告書 概要版

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団

セミナー開催概要

- 主 催 : 公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団(日本 GIF)
- 日 時 : 2021年12月9日(木) 14:00~15:30
- 開催形式: Zoom を利用したオンライン形式(ウェビナー)
- 講演者: 松永 大介氏(前在エチオピア特命全権大使、日本 GIF 評議員)
- 司会者: 中山 幹康氏(日本 GIF 専務理事)
- プログラム内容:
 - 14:00 開会挨拶 中山 幹康氏
 - 14:05 講演 松永 大介氏
 - 15:50 質疑応答
 - 15:30 閉会

開催の趣旨

海上交通の要衝である「アフリカの角」は、ソマリア、エリトリア、ジブチが含まれ、更に内陸国とは言えその一部としてエチオピアも含むと考えられる。エチオピアは近年 2 桁成長を続けてきたが、昨年 11 月、北部ティグライ州と連邦政府の間に内戦が発生した。一時鎮静化したかと思われたが、再び情勢が悪化し、今年 11 月 2 日、連邦政府は非常事態を宣言した。すでにティグライ州等から隣国スーダンや国内各所への避難民が発生し、食糧不足や深刻な人権侵害の報道もある。

日本 GIF は、FOIP(自由で開かれたインド太平洋)構想の最西端である東アフリカでのインフラ開発に着目している。9 月と 11 月には、東アフリカをテーマにオンラインセミナーと国際会議を開催し、多くの反響を得た。

このたび、緊迫したエチオピア情勢の背景、インフラ開発を含む東アフリカの経済・社会の開発に及ぼし得る影響等についてお伺いするため、臨時のセミナーを企画した。2018 年から昨年までエチオピア大使を務められ、当財団の評議員でもある松永大介大使に講演を依頼した。

講演要旨

昨年 6 月、アビィ首相がコロナの感染拡大を理由に、総選挙の延期を発表した。これを受け、ティグライ州が同年 9 月に独自に実施した選挙を、アビィ首相は憲法違反であると

批判した。昨年 11 月、TPLF(ティグライ人民解放戦線)と配下の軍事組織が、連邦政府軍の基地を襲撃したが、その後連邦政府がティグライ州都メケレを TPLF から奪還した。今年 6 月、延期されていた総選挙で繁栄党が勝利し、連邦政府は休戦を宣言したが、TDF(ティグライ国防軍)はアディスアベバに向けて進軍していった。先月、非常事態宣言が出されたが、最近では、連邦政府軍が押し返していると言われている。

アビィ首相は、エリトリアとの和解を評価され、2019 年ノーベル平和賞を受賞した。今回エリトリア軍は連邦政府軍に味方し、ティグライ州に侵入した。国内問題にエリトリアを巻き込み、事態が複雑化している。

内陸国エチオピアは、これまで海への窓口としてジブチに依存してきたが、エリトリアとの和解により、マッサワ港やアッサブ港などエリトリアの港への期待が高まった。しかし、アディスアベバからマッサワ港へ行くには、ティグライ州を経由する必要がある、当分の間安全な流通は確保できないと思われる。

エチオピアにグランド・エチオピア・ルネサンス・ダム(GERD)を建設中だが、下流のエジプトとスーダンはこのダムの管理・運営をめぐるエチオピアと対立している。スーダンは、電力確保や灌漑用水が得られるプラス面はあるが、ダムの貯水による水資源の減少、また放水による洪水などによるマイナス面への懸念もある。

エチオピアは 2019 年に IMF からハイリスク国の認定を受けたため、この指定が続く限り原則として日本の円借款は出せない。また、日本は OECD のメンバー国なので、援助に必要とされる資材や役務の調達先を限定しない「アンタイド援助」で円借款を供与しなくてはならない。道路建設のような場合、日本が落札できないものも出てくる。この 2 点が、日本がエチオピアに対して中国のようにインフラ投資を行うことができない背景にある。

<質疑応答>

TPLF の目的や今後について、物流回廊について、今後のエチオピア情勢などについて質疑応答が行われた。

アンケート・感想

参加者に対し、セミナー終了時にアンケートを表示し回答を依頼。セミナーについて知った経緯、セミナーの感想、意見要望等について、貴重なご意見を頂戴した。

また、今後のセミナー企画の参考のため、当財団のインターンにセミナーへの参加を促し、コメントを得た。

以上